

# 上田まさや Vol.5 活動報告

— 新人議員日記 —

## まさやレポート



命を大切に！  
ひとりじゃないよ

刈谷市では「地震ハザードマップ」が新しくなりました。刈谷市では「南海トラフ巨大地震」が発生した場合、市域の大半で震度6強、猿渡川沿いや衣浦湾付近などで震度7の揺れが予測されていて、揺れや火災などで約9000棟の建物が崩れると言われています。また、液状化の心配も懸念されます。

### 刈谷市の防災

一般質問映像は  |  で検索

●刈谷市議会定例会一般質問で「刈谷市の防災」について質問しました。

●避難所に災害バルクタンクを設置を！

今回は、ま災害時における小学校、中学校の避難所の機能について質問しました。災害時に都市ガスは遮断される可能性が高いがプロパンガスは単体で稼働できる。すでにプロパンガスを設置している公共施設の災害時における機能強化が低コストで図れる（災害用の取り出し口を外に設置すると既存のガス設備が災害ガスボンベ災害バルクタンクに機能アップできる。）

#### LPガスの利点

地震の時の復旧が早い阪神大震災 復旧までに都市ガス84日 LPガス10日

震度5以上で自動的に遮断

バルクタンク 500キロに3分の1で100人に6日分のエネルギーを供給出来る。

●既にプロパンガス、バルクタンクが設置してある小学校、中学校

富士松北小学校、小垣江小学校、双葉小学校、刈谷東中学校、富士松中学  
※LPガスがある学校は防災機能が高いということです。

●市民館は「刈谷市自主防災事業補助金」を活用して災害バルクタンク設置を！

防災施設整備事業	補助率	4/5	補助限度額	50万円
防災資器材整備事業	補助率	4/5	補助限度額	30万円

刈谷市の西部市民館は防災施設事業補助金を使って148kgの災害バルクタンクを設置しています。また、防災資器材整備事業補助金を使ってガス発電機、ガスコンロ等を購入しています。

#### ★刈谷市の避難所のプロパン設置率

北部地区	3/12	設置率25%
中部地区	2/16	設置率12.5%
南部地区	2/11	設置率18.18%



※双葉小学校のバルクタンク

### 刈谷市が抱える2つの課題

## 「社会保障費の増大」と「公共施設の維持管理費の増大」

刈谷市の高齢化率 H25人口147,332人 65歳以上人口25,282人 高齢化率17.2%  
※国24.2% 愛知県21.2%

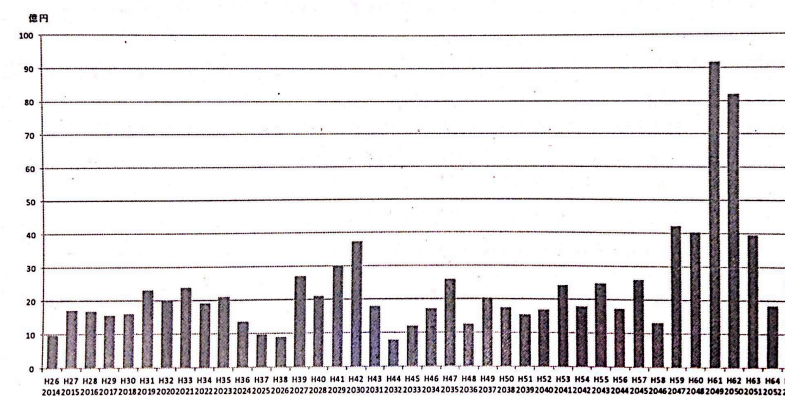
平成20年度	平成24年度
市税歳入 355億2005万1927円	市税歳入 333億4738万3034円
国民健康保険歳出 93億8138万64円	国民健康保険歳出 109億9375万1350円
後期高齢者医療費歳出 9億5656万1212円	後期高齢者医療歳出 12億2010万3802円
老人保健歳出 8億8447万1936円	
介護保険歳出 47億386万6784円	介護保険歳出 57億6689万9330円
生活保護費歳出 5億6210万2074円	生活保護費歳出 12億6364万7463円
一般会計繰入金	一般会計繰入金
国民健康保険 7億5699万8671円	国民健康保険 10億8727万7239円
老人保険 7766万2000円	
後期高齢者医療 1億1464万4000円	後期高齢者医療 1億1829万8000円
介護保険 7億1883万9748円	介護保険 9億324万1000円

刈谷市の高齢化率は全国に比べて低い数字ですが、それでも国民健康保険、後期高齢者医療介護保険に一般会計からの繰入金が増加しています。高齢化率はこれからも上がっていきませんが高齢化率を押さえる政策が必要です。その一つはファミリー層の定住人口を増やすことですがしかしながら、刈谷市は住宅、マンション価格が高く、他の市にファミリー層の流出傾向があるようです。ここを改善する必要があります。

表 2.9 ライフサイクルコスト算出結果

ライフサイクルコスト推計額	シナリオ1	シナリオ2	シナリオ3	シナリオ4
今後10年間平均額	1.8億円	2.2億円	1.9億円	1.9億円
" 20年間平均額	2.7億円	2.8億円	1.9億円	1.9億円
" 40年間平均額	3.8億円	3.9億円	2.4億円	2.4億円

※平成24年度当初予算のうち公共施設の維持保全にあてられる費用は、約1.2億円程度



※H24年度当初予算のうち公共施設の維持保全計画にあてられる費用は、約1.2億円程度

刈谷市の公共施設は767棟あり、そのうち計画的な維持保全を実施する必要性が高いと判断される施設が396棟あります。そして左図を見ると例えばシナリオ3（耐用年数80年）場合、今後40年間で平均毎年2.4億円と巨額の費用が必要です。（H24年度の費用の2倍）特にグラフのH36年がピークになります。今後、少子高齢化人口が減少（H37年から減少予想）する刈谷市にとって爆弾です。刈谷市はH25年度より修繕費の積み立て2億円をはじめましたが、今後は市民の皆さんが行政や議会を見て意見を言う姿勢が大切です。

Yahoo! youtube

|

ブログ : [http://blogs.yahoo.co.jp/masaya\\_ueda70](http://blogs.yahoo.co.jp/masaya_ueda70)  
facebook: : <http://www.facebook.com/kariyaueda>  
e-mail : [masaya70@gmail.com](mailto:masaya70@gmail.com)